



にほん しゅっさん かん ぶんか
日本の出産に関する文化

にんしんちゆう
妊娠中

怀孕期间

日本的生育习俗与文化

ふくたい
<腹帯>

にほん にんしん しゅう いぬ ひ いぬ
日本では妊娠16-19週ごろの戌の日に、「戌のように
あんざん
安産であるように」というねがいをこめて、さらしをおなか
ま しゅうかん
に巻く習慣があります。おなかを暖めるという意味で
しよう ひと おお ささ
使用する人や、大きくなったおなかを支えるために使用する
ひと
人などさまざまです。また、まったく使用しない人もい
ます。

<腹帯>

在日本，当怀孕到第16周至第19周时，习惯于选择在旧历的戌日（戌为狗）这一天，用漂明白布做成的腹带将腹部包缠起来。这其中包含着祈求“像会产仔的狗一样平安顺产”的愿望。不过孕妇们使用腹带的目的各有不同。有的是为了腹部保温，有的人用腹带是为托护日渐隆起的腹部，另外也有人不用腹带。



しゅっさん ごと
出産後

婴儿出生后

おへその緒
<へその緒>

ま 魔よけやお守りになるという言い伝えがあり、へその緒を
と しゅうかん かんそう きり はこ
取っておく習慣があります。乾燥させてから桐の箱など
い ほかん さいきん かんせん りゆう
に入れて保管しておきます。最近では感染の理由から、
お わた びょういん ふ
へその緒を渡さない病院も増えてきました。

<脐帯>

在日本传说脐带可以驱邪护身，所以有将婴儿脱落的脐带保存起来的习惯。即把充分干燥了的脐带存放到桐木盒子里保管起来。不过最近出于防止感染的理由，不把脐带交给产妇的医院也渐渐多起来了。

しちや <お七夜>

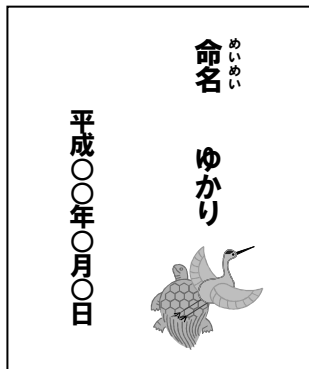
せいご かめ めいめいしき げんざい しはん
生後7日目に命名式をすることです。現在では、市販の

めいめいしょ はんし ちゅうおう めいめい なまえ か
命名書や半紙の中央に命名〇〇〇と名前を書き、その

ひだりわき せいねんがっぴ か かみだな かざ かべ は
左脇に生年月日を書いて神棚に飾ったり壁に貼ったり

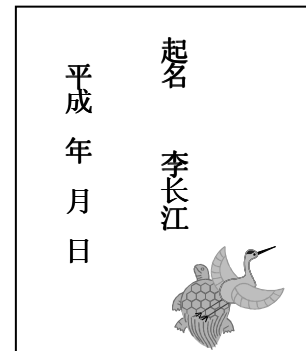
します。赤ちゃんの名前は、お七夜の前に決めることが

おお
多いです。



<満七>

是指在婴儿出生后第七天举行的起名仪式。现在，一般是从商店里买回专门用来起名的挂轴或是日本式白纸，在其中央写上“命名 某某”，再在其左下端写上出生年月日，然后把它摆到神龛上或是贴挂到墙上。宝宝的名字大多是在“满七”之前起好。



うちいわい <内祝>

にほん しゅっさん いわ いただ たい
日本では、出産のお祝いとして頂いたものに対して、

かえ しゅうかん うちいわい
お返しをする習慣があります。これを「内祝」とい

ます。お返しのものには、内祝というのし紙に、

う なまえ か は せいご かげつ
生まれたこどもの名前を書いて貼ります。生後1ヶ月まで

かえ いっばんてき
にお返しするのが一般的です。

<回礼>

在日本，孩子出生后会收到一些贺礼。对此一般都有回礼的习惯，日本人把这叫做“内祝”。送回礼时，要在印有礼签，礼绳且写有内祝”的白纸上写上孩子的名字，再将之贴到回礼盒上。回礼一般应该在孩子满月之前。

みやまい <お宮参り>

せいご かげつ たんじょう いわ びょうき けんこう
生後1ヶ月の誕生を祝い、また病気をせず健康であるこ

と（無病息災という）を願うために行います。着物などの

せいそう じんじゃ で ちちかた そぼ あか
正装をして神社に出かけます。父方の祖母が赤ちゃんを

だ みやまい いっばんてき
抱くのがお宮参りの一般的なスタイルです。

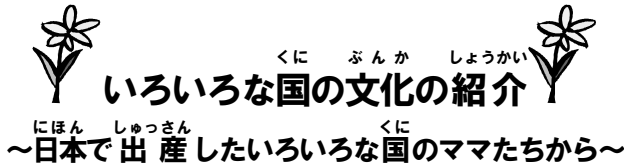
<参拜神社>

这是在满月后为庆祝婴儿的出生，祈祷消灾免病，宝宝健康成长所举行的一种拜神仪式。届时要穿上和服之类的正式礼装去神社。一般都是由祖母（奶奶）抱着婴儿进行参拜。



<お食い始め>

生後100日～120日ごろに、大人と同じような食事を赤ちゃんにも用意します。(赤ちゃんが食べられるようなスープなども用意します) 実際には食べるまねだけをするのですが、これは一生食べ物に困らないように願うために行います。



<インドネシア>

宗教上の理由で、豚肉を食べられない人が多いです。悪魔から赤ちゃんを守ると言う意味で、赤ちゃんのベッドに、にんにく、鏡などを置く場合もあります。

<パキスタン>

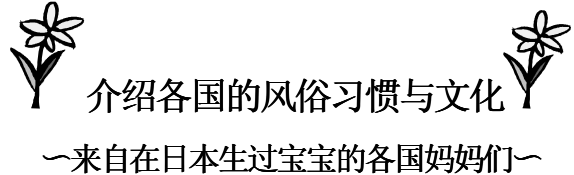
宗教上の理由で、女性の医師や助産師からしかケアを受けられないことがあります。また、妊娠中であっても、ファースティング(食事などを制限すること)を行う人もいます。分娩の前に、陰部の毛をすべて剃ることもあります。

<イタリア>

生まれてすぐの赤ちゃんを連れて、一緒に外出することが多いです。そのほうが健康的と考えられているからです。イタリアでは里帰り分娩をする人はほとんどいません。それは、実家に帰ったら、夫婦の仲が悪くなってしまったと思われてしまう場合もあるからです。

<吃百岁>

在婴儿出生后一百天至一百二十天左右时,要为婴儿准备一份和大人一样的食物(也会准备一些婴儿可以食用的汤粥类流食),而实际上只是做一些喂婴儿吃饭的动作。这是为了祝愿孩子一生都会衣食无忧而举行的一种祈祷仪式。



<来自印度尼西亚的妈妈>

由于宗教上的原因,很多人不吃猪肉。为了避邪,有时会在婴儿的床头放上大蒜,摆上镜子等等。

<来自巴基斯坦的妈妈>

由于宗教上的理由,往往只能接受女医生或女助产士的照料。另外即使是在怀孕期间,也有人会奉守宗教习惯坚持节食。在分娩前也有人会把阴毛全部剃掉。

<来自意大利的妈妈>

很多人会把刚刚出生的婴儿带到外面去,说是这样可以使宝宝长得健壮。在意大利几乎没有人会回娘家生孩子。这可能是人们认为回娘家会导致夫妻关系不和的缘故吧。